



SnapVault

を使用したボリュームリストアの管理

System Manager Classic

NetApp
June 22, 2024

目次

SnapVault を使用したボリュームリストアの管理.....	1
SnapVault によるボリュームリストアの概要	1
ボリュームリストアのワークフロー	1

SnapVault を使用したボリュームリストアの管理

SnapVault によるボリュームリストアの概要

データが失われた場合に、ONTAP の SnapVault バックアップからボリュームを迅速にリストアできます。

この手順は、次の方法でバックアップからリストアする場合に使用します。

- クラスタで ONTAP 9 を実行している。
- クラスタ管理者である。
- の説明に従って、バックアップ関係を設定しておきます手順 [SnapVault を使用したボリュームのバックアップ](#)
- 単一ファイル / LUN のリストアを実行しない。
- すべての選択肢について検討するのではなく、ベストプラクティスに従う。
- 背景にある概念について詳しく確認する必要はありません。
- ONTAP 9.7 以降では、ONTAP System Manager の UI ではなく、ONTAP 9.7 以前のリリースで System Manager のクラシックインターフェイスを使用する。

上記の想定条件に該当しない場合、または背景にある概念について詳しく学びたい場合は、次の資料を参照してください。

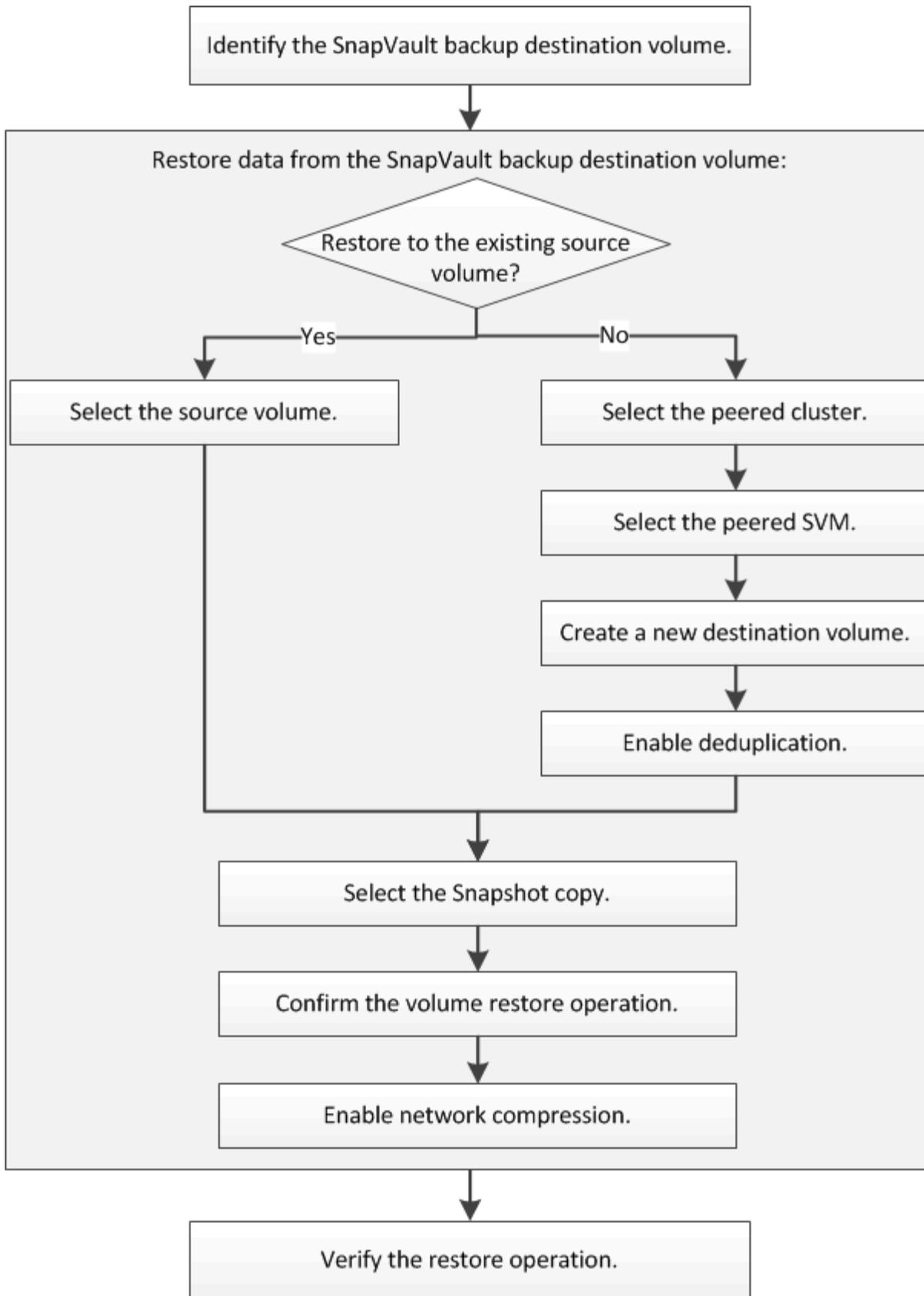
"[ネットアップテクニカルレポート 4183](#) : 『SnapVault ベストプラクティス』"

ONTAP でこれを行うその他の方法

実行するタスク	参照するコンテンツ
再設計された System Manager (ONTAP 9.7 以降で使用可能)	" 以前の Snapshot コピーからボリュームをリストアします "
ONTAP のコマンドラインインターフェイス	" SnapMirror デスティネーションからボリュームの内容をリストアします "

ボリュームリストアのワークフロー

ソースボリュームを使用できない場合やデータが破損した場合は、SnapVault バックアップからリストアできます。SnapVault バックアップからボリュームをリストアするときは、SnapVault デスティネーションボリュームを選択し、新しいボリュームまたは既存のボリュームにリストアして、リストア処理を確認します。



追加情報を使用すると、SnapVault バックアップ関係を管理したり、他の方法でデータ保護を行ってデータリソースの可用性を保護したりすることができます。

- [ボリュームのディザスタリカバリの準備](#)

ディザスタリカバリに備えて別の ONTAP クラスタのデスティネーションボリュームを設定する簡単な方法について説明しています。

- [ボリュームディザスタリカバリ](#)

災害発生時に別の ONTAP クラスタのデスティネーションボリュームをアクティブ化する簡単な方法と、リカバリ後にソースボリュームを再アクティブ化して SnapMirror 関係を元の状態に戻す方法について説明しています。

SnapVault バックアップのデスティネーションボリュームを特定します

ソースボリュームのデータが破損した場合や失われた場合にデータをリストアする SnapVault バックアップデスティネーションボリュームを特定する必要があります。

このタスクについて

このタスクは * source * cluster で実行する必要があります。

手順

1. URLを入力 `https://IP-address-of-cluster-management-LIF` Webブラウザで、クラスタ管理者のクレデンシャルを使用して System Manager にログインします。
2. [* Volumes (ボリューム)] ウィンドウに移動します。
3. SnapVault 関係のデスティネーションボリュームとそのボリュームが含まれている SVM の名前を特定します。
 - ONTAP 9.3 以降：ボリュームをダブルクリックして詳細を表示し、* protection * をクリックします。
 - ONTAP 9.2 以前：Volumes (ボリューム) ウィンドウの下部にある * Data Protection * (データ保護*) タブをクリックします。

SnapVault バックアップからデータをリストアする

SnapVault バックアップデスティネーションボリュームを選択したら、リストア処理を実行する必要があります。バックアップしたデータをテストする場合は新しいボリュームにリストアし、データが失われたか破損した場合は既存のボリュームにリストアします。

このタスクについて

このタスクは、* デスティネーション * クラスタから実行する必要があります。

手順

1. 実行している System Manager のバージョンに応じて、次のいずれかの手順を実行します。
 - ONTAP 9.4 以前： [* 保護 *] > [* 関係 *] をクリックします。
 - ONTAP 9.5 以降： * Protection * > * Volume Relationships * をクリックします。
2. SnapVault バックアップデスティネーションボリュームが格納された SVM を選択し、* Operations * > * Restore * をクリックします。
3. [* リストア *] ダイアログ・ボックスで、元のソース・ボリュームまたは新しいボリュームにデータをリストアします。

リストア先	作業
元のソースボリューム	「* ソースボリューム *」を選択します。
新しいボリューム	<p>a. 「* Other volume * (その他のボリューム)」を選択</p> <p>b. ボリュームとピア関係にあるクラスタおよび SVM を選択します。</p> <p>c. ピア関係にある SVM をリストから選択します。</p> <p>d. SVM にピア関係が設定されていない場合は、SVM のピア関係を作成します。</p> <p>i. SVM を選択します。</p> <p>ii. [* Authenticate] をクリックします。</p> <p>iii. ピアクラスタのクラスタ管理者のクレデンシャルを入力し、* Create * をクリックします。</p> <p>e. 「* New Volume (新規ボリューム)」を選択します</p> <p>f. デフォルトの名前を変更する場合は、次の形式で表示されます。 `destination_SVM_name_destination_volume_name_restore`で、新しい名前を指定し、ボリュームの包含アグリゲートを選択します。</p> <p>g. [重複排除を有効にする *] チェックボックスをオンにします。</p>

Restore to _____

Source volume Other volume

Cluster: ▼

Storage Virtual Machine: ?

Volume: New Volume Select Volume

Volume name: Aggregate:

Enable dedupe 517.22 GB available (of 520.28 GB)

- 最新の Snapshot コピーを選択するか、リストアする特定の Snapshot コピーを選択します。
- Snapshot コピーからボリュームをリストアする場合は「* OK」チェックボックスを選択します。
- リストア処理中に転送されるデータを圧縮するには、[ネットワーク圧縮を有効にする]チェックボックスをオンにします。
- [* リストア] をクリックします。

リストア処理の間、リストア対象のボリュームは読み取り専用に変更されます。リストア処理が完了する

と、一時的な関係が削除され、リストアしたボリュームが読み書き可能に変更されます。



8. メッセージボックスの **OK** をクリックします。

リストア処理を検証

SnapVault バックアップデスティネーションボリュームからのリストア処理の実行後、ソースクラスタでリストア処理のステータスを確認する必要があります。

このタスクについて

このタスクは * source * cluster で実行する必要があります。

手順

1. [* Volumes (ボリューム)] ウィンドウに移動します。
2. ボリュームのリストでソースボリュームを選択し、ONTAP のバージョンに応じて次のいずれかの操作を実行します。
 - ONTAP 9.3 以降：ソースボリュームをダブルクリックして詳細を表示し、* protection * をクリックして、SnapMirror 関係のデスティネーションボリュームと、ボリュームが含まれている SVM の名前を特定します。
 - ONTAP 9.2 以前：「* データ保護 * 下部」タブをクリックして、SnapMirror 関係のデスティネーションボリュームと、ボリュームが含まれている SVM の名前を特定します。[タイプ]フィールドが表示されます Restore 一時的にリストア処理が完了すると、フィールドに Vault。

SnapVault 関係に問題がある場合は、トラブルシューティングを行ってください。SnapMirror 関係のトラブルシューティング手順は、SnapVault 関係にも適用できます。

"[ネットアップテクニカルレポート 4015 : v SnapMirror Configuration and Best Practices for ONTAP 9.1、9.2](#) "

著作権に関する情報

Copyright © 2024 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。